

19 陳情 第 21 号	子どもたちがすこやかに育つため保育室の存続と公的補助の拡充を 求める陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成19年9月19日受理、平成19年9月21日付託
陳情者	新宿区大久保 _____ _____

(要 旨)

- 1 保護者が安心して働き続けられるように、保育室の存続と拡充を区としてしっかり位置づけると共に、東京都に対して意見をあげ、区として独自の保育室を守るよう積極的な施策を行って下さい。
- 2 保育室の保育単価を区の認可園並に引上げて下さい。
- 3 認証保育所制度を進めていくにあたり、移行するための費用及び施設を提供して下さい。
- 4 認可をめざしている保育室に対して認可がとれるよう積極的な支援をして下さい。
- 5 職員に対して保育の質が向上できるよう研修費の補助を保障してください。

(理 由)

近年、未来を担う子どもたちの育つ環境を改善していくことが、益々重要になっています。女性の社会進出が増加すると共に、子育てに悩むお母さん、生活の為に働く母親も多くなり、育児と仕事が両立できる公的保育施設と子育て支援が求められています。新宿区におきましても保育、子育て支援が、安心して出来る施策を求める声は多く保育の拡充が求められています。

私たち保育室は、40年以上地域の保育ニーズに応えて先駆的役割を果たし認可園の補完的役割を果たしてきました。現在は各園定員いっぱいの状況です。これからも地域の多様な保育ニーズに応えて、保育を続けていきます。区として保育を必要とする子どもたちの為に保育室の存続と保育、子育て支援の充実を強く要望致します。